

地震に備えて (4)

＝車を運転していてグラッ! ときたら＝

車を運転していて異状な揺れを感じたら、あわてずに次の行動をしてください。

(1) あわてて急停車しない!

徐々に車を左に寄せて停車しましょう。あわててブレーキを踏むと、ハンドルをとられたり、追突される原因になります。

(2) ラジオはかけたまま!

カーラジオは、かけたままにしておいてください。交通情報・火災情報・津波情報などがつきつぎに放送されますから、この情報を聞いて適切な行動をしてください。

(3) エンジンは止める!

ガス漏れがあったり、ガソリンが漏れていたりすると、エンジンのスパークなどで引火して火災を起したりする危険があります。エンジンは

直ちに止めてください。

(4) 車を使つての避難はやめる!

避難場所へ避難するときは、車を使つてはいけません。ほかの人に迷惑をかけるだけでなく、自分自身が身動きできなくなります。



眼の不自由な人に声の贈りもの

5月から社会福祉協議会が声の広報を……

眼の不自由な人にも市政をよく知ってもらおうと5月から声の広報がはじまりました。

市では、企画調整部広報広聴課が毎日午前7時30分と午後5時にそのときどきの市の行事や催しものなど

を市内169か所の広報無線放送を通じて市民のみなさんにお知らせしているほか、一般の公社電話を利用していつでも聞けるダイヤル市政案内(52-1111)を行っています。これらは、いづれも時間的な制約があ

って市の大事な政策的なものなどは放送できません。したがって、政策的なものは、毎月5日と25日に発行する「広報ふじ」を使つてお知らせしているため、眼の不自由な人

は知るすべがありません。

このため、富士市社会福祉協議会は、昨年10月、市内に住む192人の眼の不自由な人からアンケートをとったところ、そのうち39人からぜひ広報ふじの内容を知らせてほしいと希望がありました。社会福祉協議会では、さっそくこの希望にそうためテープレコーダ15台とテープを購入して広報ふじの内容をテープに納め眼の不自由な人に順番に聞いてもらうことになりました。テープの吹込や複製などは、社会福祉協議会に登録されているボランティアの主婦達11人が喜んで引受け、いそがしい家事の合間を利用して毎月声を贈りつづけることになっており、眼の不自由な人からは何よりの贈りものだと言われています。



【声を送りつづけるボランティアの人達】